地球環境問題解決のための重要な要素

No.	氏名	居住地域	国名	所属機関種別	年齢	問5_1　地球環境問題解決の為の重要な要素	問5_2 ご意見
W008	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	70代以上	2. 国際協力・グローバルガバナンス 5. 再生可能エネルギー・インフラ転換 11. その他（自由記述）	好戦的かつ自国第一主義的なリーダーが大国に登場し、積み上げられてきた国際的な合意や制度を踏みにじる。そんな現状に期待が持てない。なにより、そうしたリーダーが支持される条件が各国にあること、そこが問題。環境問題に目が向けられるようになったのはいいことだが、相対的に社会的に恵まれない人々への関心が低くなり、追い詰められたと感じる人が、「救世主」や「英雄」を求める。その打破がとくに重要と感じる。
W014	渡邉　泉	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発	直近的には、産業や経済なのだろうが、時間的に不十分である。すべての根本は、全球、すべての個人の、意識変容からの行動変化、つまりライフスタイルの転換であり、これ以外に解決策はない。そのために、教育（環境・自然・循環・こころの教育）の、速度を伴う充実が不可欠である。このギリギリ最短の主体は政府のリーダーシップしかあり得ない。期待したい（できるのか？　と疑問符の方が大きいため悲観的になる）
W018	森田　紘圭	アジア	日本	企業	40代	2. 国際協力・グローバルガバナンス 3. 経済制度改革・市場メカニズム 6. 企業の環境責任・ESG経営	地球環境問題に政府ができることは案外多くなく、グローバルな関係性の中での立ち位置の確保と、実質的な負荷を直接出している企業行動の変化が何より重要と考える。国内に関して言えば、ナラティブが先行する中での課題や政策コンセプトの流行化により、無自覚な（悪気のない）チェリーピッキングやグリーンウォッシュが横行しており、企業を含め、実質的な成果を挙げられていない。
W037	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	40代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 3. 経済制度改革・市場メカニズム 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換	問6とも関連するが、個人の行動（個人最適化）を超えた社会最適化に関するものＯが地球環境問題です。そのため、何よりも政府のリーダーシップとそこから生まれる制度改革が重要だと思います。民間発や個人発で解決するたぐいのものであはりません。
W042	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	60代	3. 経済制度改革・市場メカニズム 4. 技術革新 6. 企業の環境責任・ESG経営	今は世界の各地域で紛争が起こっているが、それどころではない。 市場経済が優先され、地球環境問題は置き去りになっている。 技術革新については我々も努力しているが、うまく開発ができないと思われる。そのために政府が財政的支援などもっと積極的に考えないと取り返しのつかないクリティカルポイントがやってくると思う。
W051	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	60代	8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発 10. メディア・情報の質と信頼性	戦争はとてつもない環境破壊をもたらすが、ではなぜ戦争が起こるかというと、歴史や文化・哲学といった人文科学的素養を多くの人間が描くようになり、本来は社会の木鐸となるべきメディアが政府広報のような役割しか果たさなくなっていることに原因がある。政府やメディアに期待できない以上、個々人が自ら学び行動する以外に環境問題への対応をはじめとする社会変革をもたらすことはできない。
W054	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	60代	4. 技術革新 7. 地域ガバナンス・自治体の役割 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発	核兵器廃絶の合意さえできない状態で、地球環境政策を市場メカニズムでドライブすることには相当の無理があります。ロシアやアメリカによって、力の支配が現在も本質的に有効である現状が露呈した以上、性善説をベースにした地球環境政策から、ディールをベースにしながらゆっくりと国際合意にシフトしていくようなスタイルしか選択肢は無いと思います。
W056	佐藤　秀樹	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 4. 技術革新 9. 教育・啓発	制度、技術、教育が三位一体となって取り組む必要があるため。
W059	小山　孝一郎	アジア	日本	大学・研究機関	70代以上	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 2. 国際協力・グローバルガバナンス 4. 技術革新	日本政府はもっと国際協力に力を入れるべき。私があるアジアフォーラムでアジア各国の意見を聞いたとき　日本の官僚は2，3年で部局が変わり、これでは信頼醸成できないという意見が数人のアジア代表からきかれました。係官が足りなければ研究者にも協力を。
W067	河野　暢明	アジア	日本	大学・研究機関	40代	4. 技術革新 7. 地域ガバナンス・自治体の役割 9. 教育・啓発	SDGsの認知は広がっていますが、その実、SDGsの個別具体的な内容まではサポートされておらず、実社会で見られる活動といえばエアコン、無駄遣い、ゴミ拾いといった、これまでの社会貢献活動を着せ替えただけのものばかりです。この原因は大いに教育現場にあると思われ、そもそもSDGsが目標としなければならない現状の課題を知り、解決策がどの程度世の中にあるのか、そういった大局的な視点の啓蒙が不可欠です。
W076	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	40代	3. 経済制度改革・市場メカニズム 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発	個人はエネルギーを大量消費するライフスタイルから全く抜け出せていない。AIの利用によってむしろそれは悪いほうに加速している。
W079	黒田　真史	アジア	日本	大学・研究機関	40代	3. 経済制度改革・市場メカニズム 9. 教育・啓発 10. メディア・情報の質と信頼性	近視眼的な経済優先が最善とされる現代人の思想を是正するための新たな時代の規範の確立が重要だと思います。かつてはそれぞれの宗教が人間の規範となっていましたが、宗教的規範意識と現代社会のズレが大きくなって機能しなくなり、経済優先の思想が取って代わりました。環境技術の開発と並行して、「ホモ・エコノミクス」的行動を抑制するための人間の新たな価値観についての研究を深める必要があると考えます。
W099	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 2. 国際協力・グローバルガバナンス 3. 経済制度改革・市場メカニズム	地球環境問題への取り組みは一国でなし得るものではないので、国際交流と相互理解の努力がより一層必要と思われます。

地球環境問題解決のための重要な要素

No.	氏名	居住地域	国名	所属機関種別	年齢	問5_1　地球環境問題解決の為の重要な要素	問5_2 ご意見
W116	奥村　直士	アジア	日本	その他	70代以上	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 10. メディア・情報の質と信頼性 11. その他（自由記述）	世界大戦を知らない世代に代り、世界中が戸惑っています。最悪は核兵器・化学兵器・細菌生物兵器使用による大規模環境破壊です。次に、海洋プラスチック汚染・農薬汚染・食品添加物汚染・耐性ウィルス拡散の進行が問題です。更に、生物多様性・自然・景観の破壊が問題です。一部活動家・ビジネスの一点集中・排他的思い込みは近年一般市民に見抜かれました。環境回復には大規模対策が不可欠と感じる賢者は世界中に多いと感じます。
W191	楠部　孝誠	アジア	日本	大学・研究機関	50代	3. 経済制度改革・市場メカニズム 9. 教育・啓発 11. その他（自由記述）	技術開発は環境負荷を下げるために必要だが，下げた環境負荷を消費増大で相殺している。消費を抑制するブレーキを私たちは持っていないままでは解決が難しい。
W196	[-]	アジア	日本	その他	60代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発	影響の範囲や大きさから、政府のリーダーシップがまず重要であると思う。（一部の大国が環境問題に対する国際協調から離脱しているのは残念。）加えて、対策を実行するのは人類全体であるので、地球問題を理解し、行動を起こしていくという観点で、個人の行動変容や教育・啓発も大切であると考える。
W211	坂本　真一	アジア	日本	中央政府	60代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 2. 国際協力・グローバルガバナンス 3. 経済制度改革・市場メカニズム 6. 企業の環境責任・ESG経営	利益追求は人間の性。理性で乗り越えようとしても限界があります。施策の方向性とその性を一致させることが、実効性のある対策につながっていくと思います。また、それが一握りの人たちが取り組んでいても限界はすぐに来てしまいます。多くの人の普遍的価値となるような施策の方向性、さらには国際協力が不可欠です。
W215	[-]	アジア	日本	企業	70代以上	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 3. 経済制度改革・市場メカニズム 9. 教育・啓発	国が推し進める地球環境問題は、現在の政治家にとって、まったく覚悟のこもった、施策にはなりえない。 マスコミ、言論が人類の危機、地球の危機に警鐘を鳴らすことが大事。
W222	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	60代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 4. 技術革新 11. その他（自由記述）	企業が立てた目標を短期間で見直しを迫られたり、行政の補助も一貫性がないことが混乱を招いているように思う。これは、人々が考える理想論と、現実のギャップが原因であるので、より慎重な地球環境問題に対する議論が必要であると思う。
W239	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 8. 個人の行動変容・ライフスタイル転換 9. 教育・啓発	ボトムアップ，トップダウンの両方のアクションを継続していくことが大事だと思います.
W271	[-]	アジア	日本	企業	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 2. 国際協力・グローバルガバナンス 3. 経済制度改革・市場メカニズム	個人個人の意識ももちろん大切だが、システムとしての社会が変わらなければ焼け石に水である。特に最大の環境破壊ともいえる戦争を積極的に回避しようという姿勢が見られない政治的リーダーシップのもとでは、あらゆる努力がむなしい。
W323	泉　政明	アジア	日本	その他	60代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 4. 技術革新 9. 教育・啓発	先ず教育・啓発が先決であると考える。これだけ毎年気温が高くなり続けても、私の周りには地球温暖化を疑っている人は少なくない。徹底した教育・啓発を行うことにより、環境問題を理解する多くの人材を他分野に輩出でき、それにより環境政策、技術革新が推進でき、地球環境問題に向けた明るい見通しが得られると考える
W341	近江　貴治	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 5. 再生可能エネルギー・インフラ転換 6. 企業の環境責任・ESG経営	大企業からのGHG排出が多い一方、それを規制する政策がほとんどなく、「地域で頑張ればなんとかなる」ような雰囲気が作られつつある。地域での取り組みを否定するわけではないが、大規模排出源への規制を速やかに実施すべき。
W368	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 4. 技術革新 5. 再生可能エネルギー・インフラ転換	日本の産業、経済、社会、人々の生活が海外の石油に頼りすぎである。自国でのエネルギー生産、化学原料生産に舵をきる政策と、開発、産業化に向けた企業からの投資が必要である。
W402	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	50代	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 3. 経済制度改革・市場メカニズム 7. 地域ガバナンス・自治体の役割	地球環境問題の解決に向けて，ながらく教育・啓発活動は行われてきているが，実際に社会がその方向に動くための背景にはなりえても駆動力にはなりえていない．アクションが目に見えてプラスに感じられる仕組み作りをしなければ，国や地域全体として地球環境問題の解決への取り組みにならないと考える.
W410	中澤　隆雄	アジア	日本	大学・研究機関	70代以上	1. 政府の環境政策・リーダーシップ 2. 国際協力・グローバルガバナンス 4. 技術革新	現在、自国最優先の考え方が蔓延してきていると強く感じられます。気候変動に関する国際会議での自国の経済優先に基づいた国際協調を拒否する国々、最たる環境破壊の根源となる核兵器の開発をやめようともしない国々のなんと多いことかと先行き不安なことばかりです。このような現実の中で、国際協力・グローバルガバナンスが地球環境問題を少しでも改善するためには極めて重要なことだと思います。
W422	[-]	アジア	日本	大学・研究機関	50代	4. 技術革新 6. 企業の環境責任・ESG経営 9. 教育・啓発	地球環境問題と現在社会の豊かさを共存するためには、企業の責任意識や社会の教育・啓発が不可欠であり、それらを達成するためには現在の科学技術では不十分で、地球環境と社会の持続的発展がともに成り立つような技術の発展が必要と思います。
W435	井村　秀文	アジア	日本	大学・研究機関	70代以上	2. 国際協力・グローバルガバナンス 10. メディア・情報の質と信頼性 11. その他（自由記述）	地球環境問題解決の大前提は、世界の平和である。戦争を起こさない国際政治社会倫理と、それを支えるガバナンスの実現が不可欠。しかし現在、その前提は大きく揺らいでいる。日本が国是としてきた国連中心の平和構築の枠組みは、ほぼ機能不全に陥っている。自国の利益と安全保障をより明確に意識した政策へと転換する必要がある。急速な人口減・高齢化に向かう時代、食料・資源の自立、地域活性化と環境保全との統合が重要。